

# XXXVIII IAFEI World Congress

## 第38回 世界CFO会議

日本発の新しい経営財務マネジメントを目指して



日時：2007年9月10日(月)、11日(火)、12日(水)

会場：パレスホテル(東京・千代田区)

主催：日本CFO協会

共催：IAFEI(国際財務幹部協会連盟)

後援：CFO FORUM/FASS FORUM

特別協賛

特別協賛掲載各企業名50音順



Booz | Allen | Hamilton

MERCER  
Human Resource Consulting

Microsoft®

協賛企業

Cartesis®

## 日本発の新しい経営財務マネジメントを目指して

20世紀の終わりから21世紀にかけて、IT技術の飛躍的進歩は資本と情報が瞬時に全世界を駆け巡ることを可能にしました。また、米国の世界的覇権を背景に、企業経営にも米国型スタンダードが世界的レベルに浸透しました。企業経営者がこうした大きな環境変化に対応してきた結果、世界経済はエマージング市場も含めて順調な発展を遂げてきております。しかしながら、行き過ぎた株主権論が浸透するなかで企業不祥事が世界的に多発するなど、市場主義における新たな企業経営の課題が突きつけられています。企業が未知の経営環境の中で成長戦略を進めていかねばならない時代だからこそ、CFOに求められるリスクマネジメント機能は計り知れません。

今年で38回目となる世界CFO会議を日本で開催できることを誇りに、新しい経営財務マネジメントの考え方を日本発でCFOをはじめとする経営財務の幹部の皆様方にご提供する機会となりますことを心より願っております。

日本CFO協会理事長 行天 豊雄

# 9/11(火) グローバリゼーションに挑む経営財務の今後

後援 CFO FORUM

8:30 開場・受付

9:00 ヘルムート・シュナーベル 氏 IAFEI会長

## 9:15 これからの経営環境とリスクマネジメント

米国経済や過熱するエマージング市場の今後、拡大を続けるデリバティブ市場、さらには環境・人口・エネルギー問題など、企業経営者は世界の新しい経営環境の中で未知のリスクへと挑んでいかなければならない。企業経営者、そして財務幹部が取り組むべきリスクマネジメントとは何か、2日間にわたる世界CFO会議のオープニングとして、問題点とその本質を概観してみたい。

行天 豊雄 日本CFO協会理事長



## 10:15 金融工学の役割

金融工学理論発展の歴史と現状を整理したうえで、派生証券の多様性と評価理論(事例として、ストックオプションの価値評価と会計基準など)についての考察を加えるとともに、事業会社の経理・財務にデリバティブは使えるのかを掘り下げてみたい。さらに、金融工学人材の育成を行う大学院の創設と発展についても紹介したい。

三浦 良造 氏 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授



## 11:15 コーヒーブレイク

## 11:45 タックス・マネジメントの今後と課題

国際的に事業展開をしている企業にとって、「国際税務マネジメント」「タックス・プランニング」は、競争に打ち勝つために必要不可欠なものである。この点につき、企業のCFOとして何を知っていなければならないか、何をしなければならないか一緒に考えてみたい。

渡辺 裕泰 氏 早稲田大学大学院 ファイナンス研究科 教授、元国税庁長官



## 12:45 昼食

## 13:45 日本発の新しい経営について

日本人の心性に即した経営体をどのようにして作るか、それがグローバル経済の中でどのような意識を有するのかについて考えてみたい。

船橋 晴雄 氏 シリウス・インスティテュート 代表取締役



## 14:45 グローバル時代のCFOの役割

経済やビジネスのグローバル化による経営環境の変化に伴い、CFOに求められる役割も変わりつつある。経営情報の可視化が求められる昨今、CFOが担うべき役割とは何か。また、今求められる経営管理スタイルをIBMの変革事例を交えながら解説したい。

渡邊 達雄 氏 IBMビジネスコンサルティングサービス  
フィナンシャルマネジメント 執行役員 パートナー



## 15:45 コーヒーブレイク

## 16:15 M&Aブームの先にある世界を考える

M&Aは花盛りだが、企業はこの選択肢を本当に将来のために生かしているのだろうか。時間を買う、資源を買うためにM&Aは不可欠なのだろうか。フィナンシャルプレイヤーを使いこなすのではなく、ただ踊らされてはいないだろうか——意思決定を急ぐ前に、一歩立ち止まって考えるための視点を提供するとともに、昨今のファンドの動きなどから、世界的に変化しつつある買収ファイナンスと企業経営の動向について考える。

松田 千恵子 氏 ブーズ・アレン・ハミルトン エグゼクティブ・ディレクター  
マトリックス 代表取締役、日本CFO協会主任研究委員



## 17:15 年金マネジメント —グローバルCFOのためのツールキット—

近年、年金制度はグローバル企業の財務面において、コストおよび財務リスク等の深刻な影響をもたらしている。つまり、年金のコストおよび財務リスクをマネジメントすることによって、CFOは、これまで以上に企業の持続的な競争優位性を築くことができる。ファーガル・マクギネスは、この分野での豊富な経験と企業のリスク・マネジメントの考え方をもち、CFOが年金制度を管理するための実践的なツールをご紹介します。CFOが年金という複雑な経営課題を解決するうえで重要な役割を担う背景について独自の視点で解説をする。

ファーガル・マクギネス 氏 マーサー・ヒューマン・リソース・コンサルティング 取締役 プリンシパル  
英国アクチュアリー会会員



18:15 終了

## レセプション

## CFO Exchange 2007

9月10日(月)

会場/チェリールーム

時間/18:00~19:30

前夜に参加者の皆様の交流会をご用意しております。  
世界CFO会議にお申込み頂いた方はどなたでもご参加できます。



## Reception

## ガラ・ディナー

(ご招待者限定!)

9月12日(水)

会場/明治記念館 相生の間

時間/19:30~22:00

法人会員代表者、エグゼクティブメンバー、海外からの参加者などご招待者に限定し、カンファレンス終了後に食事を留意しております。

## Gala Dinner



9/12水

経営を支えるCFOの役割と経理・財務のあるべき姿

後援

FASS FORUM

8:30 開場・受付

## 9:00 日本企業の「経理・財務」を世界標準に

— 近來30年の日本企業経営実務と経済産業省「経理・財務スキルスタンダード」をベースにして —

国際経営・経理財務&CFOの意思決定・実行を述べる。この具体的内容は、①信越化学工業の「経理・財務」38年間一筋の「経理・財務&CFO」及び「グローバル企業経営」の体験と、②経済産業省の2001年~2003年の研究成果「日本「経理・財務」スキルスタンダード」(小生もバックアップ)をベースにした具体的体験談とする。さらに、「日本の国際企業経営(販売・製造・研究開発・M&A事業)」と、それに参画し・バックアップする経理・財務部門の意思決定・経営実行」にも言及する。

金見 昭氏 経済・経営評論家、前金融監督庁(現金融庁)顧問



## 10:00 松下電器の経営戦略とCFOの役割

20世紀超優良企業となった松下電器は、90年代まさに失われた10年となった。何故ここまで衰退していったのだろうか。中村社長の登場で「破壊と創造」を標榜し、松下の経営理念以外はすべて変えてよいという方針のもと、改革を次々と実践していった。その中でCFOとして同じ船に乗り、取り組んできた改革の本質を率直に表現してみたい。

川上 徹也氏 松下電器産業 常勤顧問、松下経理大学 学長



11:00 コーヒーブレイク

## 11:30 グローバリゼーションと企業開示

企業にとって自らに関する積極的な情報開示は、その社会的存在意義を高め、投資家のみならず、顧客や取引先の信頼をも高めるための根幹とも言えるものである。そのためには、正確な財務情報の作成や、倫理的行動を確保するための内部統制機能を充実させ、経営監督機能を強化させた企業統治システムを具備する必要がある。企業活動や市場がグローバル化する中、我が国においても、今こそ、味噌味・醤油味の当該システムを確立し、これをグローバル・スタンダードの一角に打ち立てる努力をする時期に来ている。

長友 英資氏 東京証券取引所 顧問



12:30 昼食

## 13:30 会計基準の国際的コンバージェンスとわが国の会計基準

資本市場のグローバル化を背景に、わが国も会計基準の国際的コンバージェンスを進めなければならない。国際会計基準が欧州で使用され、その後、実質的な相互承認を目標に米国会計基準とのコンバージェンスが加速化されている。一方、日本も欧州の同等性評価も視野に入れ、コンバージェンスに向けた議論を加速している。その一方、コンバージェンスの議論には業績報告等、解決の道筋が明らかでない長期的、将来的な課題も含まれている。

西川 郁生氏 企業会計基準委員会 委員長



## 14:30 資金調達・運用の現場から—欧州・アジアを中心に—

企業の財務方針は各企業の歴史及びポリシー等と密接に関連しているもので、唯一かつ絶対的財務活動方針などあり得ない。しかしながら、日本企業の活動がグローバル化するにつれて、海外財務活動に関する、いくつかの共通課題が顕在化していることも事実である。欧州及びアジアのCMS、税務、その他規制の問題を中心に取り上げることにより、現状の問題点の明確化及び今後の方向性につき、資金調達の現場から考察を加える。

末田 武寛氏 日立インターナショナルトレジャリ社 社長



15:30 コーヒーブレイク

## 16:00 組織力を強化する情報管理手法「パフォーマンス マネジメント」の実践と経理財務部門の役割

情報がビジネスを駆動する現代、組織のあらゆるレベルの従業員の生産性が、競争力強化の鍵となる。的確な現状把握と分析、予測を通じた戦略プランニングが重要であることに論を待たないが、むしろその戦略を全従業員が的確に理解し、自らの能力を最大限に活かして自律的に活動することこそ、組織力強化の必須条件である。今回は、組織知性と反射神経を鍛えるパフォーマンスマネジメントのあり方を、実例を交え解説したい。

米野 宏明氏 マイクロソフト インフォメーションワーカービジネス本部 シニアプロダクトマネージャ  
日本CFO協会主任研究委員

## 17:00 アウトソーシングのグローバル化・脱ローカル化とCFOの新たな課題

アウトソーシングは今や財務機能の変革に向けた経営戦略の定石となりつつある。本講演では、社員のモチベーション、ビジネスケースの構築、アウトソーシング先の選択、アウトソーシング拠点の立地、およびリスク・マネジメントといった視点から、最近の市場動向を踏まえた今後のあるべきアウトソーシング戦略を模索すると共に、CFOが直面する新たな課題を考えてみたい。

アルマン・アンジェリ氏 グラント・ソートン・フランス 事業開発統括責任者  
欧州アウトソーシング協会(EOA)共同創立者兼副理事長

18:00 閉会挨拶



第38回  
世界CFO会議  
開催概要

日 時：2007年9月10日(月)、11日(火)、12日(水)

会 場：パレスホテル(東京・千代田区)

定 員：200名(定員になり次第締切らせていただきます)

対 象：企業経営者・CFO、経理・財務部門の幹部、金融・財務・会計の専門家

参 加 費：(レセプション参加費、テキスト代、昼食費、消費税含む)

●8月31日までのお申込……………50,000円(税込)

●9月以降のお申込……………55,000円(税込)

【日本CFO協会会員優待割引】

●8月31日までのお申込……………40,000円(税込)

お 願 い：●テープレコーダーなどの記録機器の持込みはご遠慮ください。

●テキスト、資料等は当日会場でお渡しいたします。参加者以外の方にはお断りいたします。

●参加される方のご都合が悪い場合は、代理の方のご出席をご考慮願います。

聴 講 証：聴講証は、当日会場にてお渡しいたします。

お申込はこちらまで [www.cfo.jp/conference/](http://www.cfo.jp/conference/)

会場ご案内

パレスホテル

■所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-1  
TEL:03-3211-5211 FAX:03-3211-6987

■交通のご案内

JR東京駅(丸の内北口)より徒歩8分、  
または丸の内シャトルバス(乗車無料 毎15分間隔運行)  
地下鉄千代田線・東西線・半蔵門線・都営三田線・  
丸の内線 大手町駅(C10出口) 徒歩3分



受付について

下記の時間帯で一度受付いただければ、全てのプログラムに参加が出来ます。

●9/10(月) ……17:00~19:00 (チェリールーム)

●9/11(火) ……8:30~17:00 (ローズルーム)

●9/12(水) ……8:30~17:00 (ローズルーム)

お問合せ

世界CFO会議実行委員会事務局(日本CFO協会事務局内)

Tel 03-3556-0931 Fax 03-3556-2320

[info@cfo.jp](mailto:info@cfo.jp)

■世界CFO会議とは?

世界15カ国の財務幹部の協会が組織するIAFEI(国際財務幹部協会連盟)が、毎年参加国の主催のもとで開催している国際フォーラムです。IAFEIは、CFOをはじめとした世界の会計・財務分野のエグゼクティブが、お互いに情報交換・意見交換を行うことで経営マネジメント技術の向上と高い倫理観の醸成を図ることを目的に発足した国際組織です。1969年の発足以来活動の幅を広げ、現在15カ国から13万人のエグゼクティブが参加しています。日本からは日本CFO協会がIAFEIに代表として2003年より加盟しており、今回の世界CFO会議はわが国初めての開催となります。